

令和 2 年度
事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会

目次

当法人の現況に関する事項	1
役員等に関する事項	4
令和2年度 公益・その他事業報告	5
I 公益目的事業について	5
1. いわき産業創造館管理運営事業	5
2. 地域産業振興に資する産業支援事業	7
3. 地域の新産業創造事業	14
4. 地域産業の経営革新及び技術開発支援事業	20
5. 産学官の連携促進事業	23
6. 地域産業活性化に関する調査研究事業	26
7. 地域産業振興に資する各種情報の収集および提供事業	28
II 共益・収益事業について	30
1. 産産・産学連携共同研究活動奨励事業	30

公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果 (事業活動収支差額)

単位：円

事業区分	予算額	決算額	備考
公益目的事業	▲1,868,398	▲88,597	
収益事業等	297,768	247,897	
法人会計	1,570,630	1,862,105	
計	0	2,021,405	

(2) 資金調達等の状況

① 資金調達 (借り入れ等)

該当なし

② 設備投資

該当なし

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位：円

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収益	222,779,634	212,704,047	210,704,561
経常増減額	870,570	988,999	2,021,405
正味財産期末残高	25,307,674	27,296,673	28,318,078

(4) 主な事業内容

事業別	主たる事業
公益目的事業	<p>いわき地域の産業交流拠点施設として設置された「いわき産業創造館」を活用し地域経済の活性化や新たな雇用の創出を図る産業支援事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いわき産業創造館管理運営事業 2. 産業支援事業 3. 新産業創造事業 4. 地域産業の経営革新及び技術開発支援事業 5. 産学官の連携促進事業 6. 地域産業活性化に関する調査研究事業 7. 各種情報の収集および提供事業
収益事業等	<p>【共益事業】産産・産学連携共同研究活動奨励事業</p> <p>【収益事業】実施していない</p>

(5) 従たる事務所の状況

該当なし

(6) 主要な借入先、借入額

該当なし

(7) 重要な契約に関する事項

該当なし

(8) 会員に関する事項

単位：名

種別		令和元年度末	令和2年度末	増減
正会員	団体会員	15	14	▲1
	企業会員	244	245	1
	個人会員	48	51	3
賛助会員	団体会員	0	0	0
	企業会員	1	2	1
	個人会員	6	6	0
計		314	318	4

(9) 職員に関する事項（令和3年3月31日現在）

職名等	氏名	備考	
事務局長	手塚 正	事務局長 いわき産業創造館長	正規職員
事務局次長	荒木 学	事務局次長	市派遣職員
事業課長兼事業係長	長瀬 裕信	産業支援事業担当	正規職員
庶務係長	高岡 洋平	庶務・施設管理担当	正規職員
総務管理係長	富樫 奈央	経理・総務担当	正規職員
主任	横山 大樹	産業支援事業担当	正規職員
一般職	遊佐由紀恵	庶務・施設管理担当	正規職員
一般職	柴田 恵美	産業支援事業担当	契約職員
その他臨時職員	2名	庶務・産業支援事業担当	臨時職員
計	10名		

(10) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 事業報告（案）について ・令和元年度 収支決算（案）について ・令和2年度 第一次補正予算（案）について ・役員選任候補の理事会推薦について ・令和2年度定時総会開催について ・テレワーク勤務規定承認について 	原案どおり承認された （書面による同意をもって決議の省略とした）
令和2年12月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行理事報告 ・退会届出者について ・令和2年度事業実施状況について ・新規入会申込者の入会承認について ・令和2年度第二次補正予算（案）について 	原案どおり承認された
令和3年3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行理事報告 ・退会届出者について ・新規入会申込者の入会承認について ・令和3年度事業計画（案）について ・令和3年度収入支出予算（案）について ・働き方改革関連の施行に伴う規定の改定について ・令和3年度事務局体制について 	原案どおり承認された

② 定時総会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告 ・令和2年度事業計画および収支予算について ・令和元年度収支決算の承認 ・役員選任について 	原案どおり承認された

③ 臨時総会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和2年8月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・役員選任について 	原案どおり承認された

2 役員等に関する事項（令和3年3月31日現在）

（1）理事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
会 長 (代表理事)	猪狩 正明	令和4年度定時総会	非常勤	無報酬
副 会 長	庄司 秀樹	〃	〃	
副 会 長	福迫 昌之	〃	〃	
専務理事	小松 尚人	〃	〃	
理 事	原田 正光	〃	〃	
〃	篠原 福一	〃	〃	
〃	四家 茂勝	〃	〃	
〃	影山 晴康	〃	〃	
〃	小野 行彦	令和3年度定時総会	〃	
〃	中尾 剛	令和4年度定時総会	〃	
〃	小野 佐重喜	〃	〃	
〃	俣田 真志	〃	〃	

（2）監事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
監 事	中野 光	令和4年度定時総会	非常勤	無報酬
〃	児玉 武彦	〃	〃	

公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会

令和2年度 公益・その他事業報告

はじめに

令和2年度においては、いわき市の中核的産業支援機関として、地域産業の成長発展のための基盤強化を図るため、地域内外の産学官金の支援機関との連携による広域支援機関のネットワーク強化を進め、切れ目のない支援体制を構築した。また、福島イノベーション・コースト構想の重点分野をはじめとした成長産業分野等において、新事業に挑戦する地域企業の取り組みを支援し、新たな産業の集積と自立的・持続的な産業発展に取り組んだ。

I 公益目的事業について

いわき地域の産業交流拠点施設として設置された「いわき産業創造館」を活用し、地域経済の活性化や新たな雇用の創出を図る産業支援事業

1. いわき産業創造館管理運営事業（財源：いわき市受託金）

（定款（法人の事業または目的）上の根拠：第4条第1号）

（趣旨）

いわき産業創造館の施設設備の利用を促進するため、施設機能でもある産業支援、産業交流、新産業創造の各機能を十分に発揮させる事業展開を通じて、いわき地域の産業の振興及び地域経済の活性化を図る。

（事業内容）

いわき市が設置者である「いわき産業創造館（いわき市平字田町120 LATOV6階）」の指定管理者として、各種催し等に対し、館内諸施設の貸与を行うとともに、施設、設備及び備品等の適正な維持管理と利用料の徴収を行った。

また、いわき産業創造館の機能でもある産業支援、産業交流、新産業創造の各機能を十分に発揮させるとともに、積極的な広報宣伝及び企画展示ホールを活用した企画や各種イベントの誘致等を通じ、賑わいの創出に資する魅力ある事業誘致活動を展開し、いわき地域の産業の振興及び地域経済の活性化を図ることで社会に貢献した。

また、施設の貸出しについては、条例（いわき市いわき産業創造館条例）で定められた使用目的に従い市内外の事業者または個人に使用許可を発行しており、休館日（毎月の最終月曜日および年末年始12月29日～1月3日）を除いて1年を通して行った。

(対象者)

経営革新や経営課題の解決を図ろうとする中小企業者等で会員に限定しない。

(実施内容・実績等)

◎ いわき産業創造館 施設稼働率（令和2年4月1日～令和3年3月31日迄）

※稼働率：使用日合計／年間の稼働日数合計

施設名称	令和2年度稼働率（通年）	令和元年度稼働率（通年）
企画展示ホール	34.4%	74.3%
セミナー室	50.0%	91.6%
会議室 1	35.5%	83.2%
会議室 2	46.2%	91.9%
IT研修室	16.8%	56.4%
全体平均	36.6%	79.5%

◎ いわき産業創造館 時間帯別稼働率（令和2年4月1日～令和3年3月31日迄）

※稼働率：使用日合計／年間の稼働日数合計

施設名称	午前	午後	夜間
企画展示ホール	26.9%	31.5%	21.7%
セミナー室	36.4%	46.5%	27.5%
会議室 1	19.1%	28.0%	15.3%
会議室 2	28.9%	35.8%	17.1%
IT研修室	7.8%	11.6%	8.1%

◎ いわき産業創造館 施設使用者、来館者（令和2年4月1日～令和3年3月31日迄）

※施設使用者数：貸出施設使用者、イベント来場者合計

項目	令和2年度	令和元年度	前年度比
施設使用者数	15,826人	78,440人	-62,614人 (-79.8%)

◎ 新型コロナウイルス感染拡大に伴ういわき産業創造館の管理・運営について

日時	内容
4月11日(土)～ 8月31日(月)	4月11日より、いわき市における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応に伴い臨時休館とした。休館期間中は一般利用者への施設貸出を中止し、いわき市緊急経済対策臨時窓口および持続化給付金申請サポート窓口を開設。また、新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインの策定、手指消毒液、ソーシャルディスタンス確保サインの館内各所への設置及び、臨時休館に伴う施設使用料の返金対応を実施した。
9月1日(火)	9月1日より、いわき市公共施設の利用緩和・解除の方針を受け再開館。各施設の定員人数に使用制限区分を設け、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施しつつ通常運営を再開した。

2. 地域産業振興に資する産業支援事業（財源：いわき市受託金・補助金）

（定款（法人の事業または目的）上の根拠：第4条第2号）

（趣旨）

中小企業者の経営革新、経営課題解決、知的財産等に関する取組みや企業間の交流、連携、販路拡大等を支援し、産業の振興を図る。

（事業内容）

中小企業者の経営革新や研究開発、産学連携活動等に関する意欲を喚起することを目的としたセミナーや講演会・研修会をいわき産業創造館で開催し、いわき地域の企業の新製品・新技術開発の促進を図るとともに、情報提供支援を行った。また、中小企業者が自社の製品・サービス等の販路の維持・拡大を図るための活動を支援するとともに、専門家等による中小企業者の経営課題の解決、販路の拡大支援や知的財産権の取得に関する助言・指導を行った。

（対象者）

経営革新や経営課題の解決を図ろうとする中小企業者等で会員に限定しない。

（実施内容・実績等）

（1）経営革新セミナー・オフタイムサロンの開催（財源：いわき市補助金）

中小企業者等の経営革新や経営課題の解決および産学官による自由闊達な情報交換・実践的な連携促進を図ることを目的として、いわき産業創造館で各種セミナーを開催した。

◎ 令和2年度 経営革新セミナー・オフタイムサロン 開催実績

回	開催日時／会場	テーマ	講師	参加者数 (会員数)
1	令和2年 12月16日（水） 14:00～15:30 いわき産業創造館 企画展示ホールA	地域中小企業が推進するDXそのメリットと課題 （令和2年度「起業家チャレンジ応援事業に係るマッチング支援業務」集合研修併催）	株式会社 INDUSTRIAL-X 代表取締役 八子 知礼 氏	23名 (16名)
2	令和3年 1月14日（木） 15:00～16:00 いわき産業創造館 会議室1	新春経営革新セミナー・働き方改革セミナー「中小企業の同一労働・同一賃金—今求められる実務上のポイント—」	W&L コンサルティング 社労士事務所 代表 菊地 紀男 氏	23名 (14名)
3	令和3年 1月22日（金） 15:00～16:00 いわき産業創造館 セミナー室	第6回ふくしま産業賞「福島民報社賞」受賞記念講演会「磐城高箸が地域資源で切り拓く！これまでの取り組みと地域振興、今後の挑戦について」	株式会社磐城高箸 代表取締役 高橋 正行 氏	25名 (12名)

4	令和3年 2月17日(水) 15:00~16:30 いわき産業創造館 会議室1	現場発 いわきの産業振興	公益社団法人いわき 産学官ネットワーク 協会 事務局次長 荒木 学 氏	26名 (22名)
5	令和3年 2月25日(木) 15:00~16:30 オンライン配信	働き方改革セミナー「サイボウズ流 With コロナ時代の働き方改革ー多様 化するワークスタイルのススメー」	サイボウズ株式会社 チームワーク総研 統括ディレクター 和田 武訓 氏	20名 (11名)
6	令和3年 3月24日(水) 15:00~16:30 いわき産業創造館 セミナー室	「ひとの能力とは何か 社員研修プロ グラムへの活用について」ーAI 人事 4.0の視点からー	公益社団法人いわき 産学官ネットワーク 協会 事務局次長 荒木 学 氏	33名 (17名)
7	令和3年 3月25日(木) 15:00~17:00 ※オンライン配信	高度外国人材を活用した企業変革 ーニューノーマルに適應する企業の 生き残り戦略とはー	株式会社発ジャパン /株式会社栄鑄造所 代表取締役 鈴木 隆史 氏	12名 (4名)
計				162名 (96名)

(2) 起業・経営相談窓口の設置（財源：いわき市受託金）

いわき産業創造館内の創業者支援室内マネージャー室等を活用して、中小企業診断士による企業・経営相談窓口を定期的に設置し、中小企業者・創業者等への助言・指導を行った。

◎ 令和2年度 起業・経営相談会 開催概要

項目	概要
開催日	令和2年4月~令和3年3月(随時)
会場	いわき産業創造館 創業者支援室内マネージャー室
相談時間	原則一人1時間
対象分野	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者等のかかえる経営課題全般 ・起業・創業にかかる準備や課題全般 ・助成金獲得への申請支援・アドバイス ・ビジネスプラン作成、新規事業計画作成
相談員	有限会社インキューブ 取締役社長 中小企業診断士・ITコーディネーター 佐藤 直美 氏 社会保険労務士法人HRM総合事務所 代表社員 中小企業診断士・特定社会保険労務士 奥瀬 円 氏
開催回数	144回
相談件数	のべ280件(内会員のべ130件)

(3) 特許相談窓口の設置（財源：いわき市補助金）

関係機関との連携により、弁理士による特許相談会や定期的な相談窓口の開設、及び、知的財産管理技能検定取得に向けたセミナーを開催し、中小企業者・個人事業主等への助言・指導を行った。

◎ 令和2年度 知財専門家派遣相談会 開催概要

項目	概要
開催日	令和2年6月11日（木）、7月16日（木）、9月17日（木）、11月19日（木）、令和3年1月21日（木）、3月18日（木）
会場	申請事業者事務所等
相談時間	13:00～16:00 ※原則1回45分
対象者	中小企業者、個人等
相談範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・特許・実用新案・意匠・商標の出願に関する相談 ・海外展開に関する知財支援 ・知財に関する補助金、技術支援、試作支援等に関する支援
相談員	創成国際特許事務所 弁理士 鈴木 俊二 氏
相談件数	のべ9件（内会員のべ5件）

◎ 令和2年度 特許等無料相談会 開催概要（知財総合支援窓口運営事業（福島県発明協会））

項目	概要
開催日	令和2年4月～令和3年3月（計12回：月1回）
会場	いわき産業創造館 相談室
相談時間	13:00～16:00 ※原則1回45分
対象者	中小企業者、個人等
相談範囲	特許・実用新案・意匠・商標に関する相談
相談員	片寄特許事務所 弁理士 片寄 恭三 氏 （4月、6月、8月、10月、12月、2月（計6回）） 児島特許事務所 弁理士 児島 敦 氏 （5月、7月、9月、11月、1月、3月（計6回））
相談件数	のべ15件（内会員のべ8件）

◎ 令和2年度 弁護士等無料相談会 開催概要（知財総合支援窓口運営事業（福島県発明協会））

項目	概要
開催日	令和2年5月22日（金）、7月17日（金）、9月18日（金）、11月20日（金）、令和3年1月15日（金）、3月12日（金）
会場	いわき産業創造館 相談室
相談時間	13:00～16:00 ※原則1回45分
対象者	中小企業者・個人等
相談範囲	特許・実用新案・意匠・商標に係る法務等の相談
相談員	湊法律事務所 弁護士 湊 一将 氏
相談件数	2件（内会員0件）

◎ 「令和2年度 震災復興支援アドバイザー制度」による無料相談窓口(中小企業基盤整備機構)

項目	概要
開催日	令和2年4月～令和3年3月
会場	いわき産業創造館 相談室
相談時間	13:00～16:00 ※原則1回50分
対象者	東日本大震災で被災された中小企業者や自治体、支援機関等
相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・経営士 斎藤 説朗 氏 (令和2年4月22日(水)～令和3年3月17日(水)(計10回)) ・中小企業診断士 渡辺 敬一 氏 (令和2年4月8日(水)～令和3年2月3日(水)(計7回)) ・中小企業診断士 柳沼 芳裕 氏 (令和2年5月27日(水)～令和3年3月3日(水)(計7回))
相談範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・斎藤 説朗 氏 (戦略策定、経営計画、顧客開拓、顧客管理、仕入・販売管理) ・渡辺 敬一 氏 (創業支援、経営改善、マーケティング、経営計画立案、事業承継、資金繰り対応) ・柳沼 芳裕 氏 (経営全般、経営革新支援、創業支援、事業再生支援、社員教育、情報化支援)
相談件数	のべ16件(内会員のべ8件)

(4) 「いわき知財塾」(知的財産管理技能検定3級講座)の開催(財源:いわき市補助金)

特許をはじめとする知的財産権の取得支援及び戦略的な活用を図るため、概要、活用メリット、先行技術調査の方法から出願書類の作成までを学ぶ、一連のセミナーを開催した。

◎ 令和2年度 いわき知財塾 開催実績(全4日間)

回	開催日時/会場	テーマ	講師	受講者数
				(会員数)
1	令和2年9月17日(木) 18:00～20:30 いわき産業創造館 会議室1	特許法(特許法の目的、保護対象、権利化、権利行使、存続期間等)	青和特許法律事務所 弁理士 斎藤 学 氏	14名 (8名)
2	令和2年10月1日(木) 18:00～20:30 いわき産業創造館 セミナー室	商標法(ブランドの保護)	創成国際特許事務所 弁理士 鈴木 俊二 氏	13名 (7名)
3	令和2年10月15日(木) 18:00～20:30 いわき産業創造館 セミナー室	著作権法(特許法との相違点)	福田特許事務所 弁理士 高橋 克宗 氏	9名 (4名)
4	令和2年10月29日(木) 18:00～20:30 いわき産業創造館 セミナー室	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権法(デザインの保護) ・不正競争防止法 ・その他 	創成国際特許事務所 弁理士 鈴木 俊二 氏	11名 (6名)
計				のべ47名 (のべ25名)

(5) アドバイザー派遣事業（財源：いわき市補助金）

市内中小企業者等の抱える経営・技術上の課題をスピーディーに解決し、新たな事業展開等を支援するとともに、事業者の製品及びサービスの高付加価値を図るため、豊富な経験・知識、専門スキルを有する企業OB人材等から構成された専門家（登録アドバイザー）を派遣した。

◎ 令和2年度 アドバイザー派遣事業 開催概要

項目	概要
実施期間	令和2年4月～令和3年3月（随時）
会場	申請事業者事務所等
派遣時間	1回あたり2時間程度
登録アドバイザー数	20分野104名
対象者	いわき市内事業者
派遣条件	1アドバイザー・1テーマ 原則3回まで無料
相談件数	20件（内会員9件）
派遣回数	38回（内会員14回）
派遣アドバイザー数	7名

◎ 令和2年度 アドバイザー派遣事業 派遣実績：38回

活動内容	派遣回数
社内の業務改善に伴うシステム環境等に関するアドバイス	3回
UVプリンタ、レーザー加工機の導入検討の技術支援	8回
C02レーザー導入検討のアドバイス及び技術支援、試作製作支援要請	1回
新素材開発にかかる効果の最適化、評価方法の検証方法等に関するアドバイス	1回
病院内医療機器用ケーブル類の改善に関するアドバイス	2回
各種補助金の申請書類作成に関する指導	9回
海外企業との販路構築・取引に関するアドバイス	2回
販路開拓を目的としたオンラインショップ運用に関するアドバイス	7回
業務効率化のための管理ツールの運用改善などに関するアドバイス	4回
持続化給付金に係る収入等申立書」の作成に関するアドバイス	1回
計	38回

(6) 販路開拓助成事業（いわき市補助金）

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の事業者の売上減少などの経営不安が広がる中、新たな日常・新たな生活様式に対応した販路開拓に取り組む事業活動について必要経費の一部を助成した。

◎ 令和2年度 販路開拓助成事業 採択案件一覧【採択件数9件】（内会員9件）

【展示商談会出展（オンラインを含む）】

	展示会名（会期）	出展製品等	商談件数	助成額
			（成約数）	
1	第9回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア	・光トランシーバーシステム ・故障予期器	34件 (0件)	200,000円
2	第9回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア	風力発電関連施設へのプレストレストコンクリート活用技術	0件 (0件)	194,113円
3	第9回国際風力発電展	洋上・陸上用風力発電タワーの提案	6件 (0件)	200,000円
4	FOODEX JAPAN 2021	いわき市で企画・製造されたお惣菜商品等	7件 (0件)	38,655円
5	テロ対策特殊装備展（SEECAT）'20	・マイクロ波侵入検知装置 ・車両侵入阻止装置	13件 (0件)	200,000円
6	ロボット航空宇宙フェスタふくしま2020	電動車いす、電動カート	6件 (0件)	145,200円
7	スーパーマーケット・トレードショー2021	牛乳類、スパウトヨーグルト、飲むヨーグルト、ジェラート等	1件 (0件)	169,830円
8	ビジネスマッチ東北2021春	・めひかり塩チョコ ・銘醸ショコラシリーズ等	12件 (0件)	48,750円
計				1,196,548円

【非接触型・非対面型による新たな日常・新たな生活様式に対応した販路開拓の取り組み】

	事業内容	成果	助成額
1	非接触型・非対面型「自販機販売管理システム」バージョンアップ導入 （在庫管理のシステム化による巡回頻度の削減）	・在庫管理の確認頻度の削減 ・企業への立ち入り回数の縮小 ・企業からの無人売店設置の需要増加	200,000円
計			200,000円

(7) 企業・ひと・技 応援ファンド個別プロジェクト運営支援事業（いわき市補助金）

企業・ひと・技 応援ファンド事業の採択を受けて、クラウドファンディング（FAAVO 磐城国）を活用した事業承継や技術承継、ウィズコロナ時代の新たなビジネスモデル構築に取り組む事業者を対象に、その個別プロジェクトの運営に係る必要経費の一部を補助した。

※企業・ひと・技 応援ファンド

いわき市・いわき商工会議所・いわき信用組合・(公社) いわき産学官ネットワーク協会の連携により、クラウドファンディング「FAAVO 磐城国」にチャレンジする地域の事業者ノウハウを提供し、広報や支援の呼びかけ等をサポートする。

◎ 対象案件一覧【FAAVO 磐城国プロジェクト採択件数：10 件】（内会員 3 件）

	コンセプト	目標金額	助成額
		(支援総額)	
1	刃物店のあるいわきの暮らしを守りたい	500,000 円 (715,777 円)	150,000 円
2	大切な人を守る「防災お味噌」を	500,000 円 (1,144,500 円)	150,000 円
3	「地域に開かれた場所」をかまぼこ屋が始める「場づくり」	500,000 円 (541,000 円)	150,000 円
4	日常に寄り添うコーヒー コーヒー屋がつくる人とひとが出会う場所	1,000,000 円 (1,242,000 円)	150,000 円
5	地元の食材を使い、地域を元気に！ パンケーキとカフェでコロナ禍の夜明けを	500,000 円 (576,000 円)	148,820 円
6	福島県屈指の港町、久之浜の生産者を支えたい 港町に唯一の魚屋を守り続ける	500,000 円 (552,000 円)	145,200 円
7	平の町の、旅館の灯火を守りたい	500,000 円 (1,321,000 円)	150,000 円
8	100 年続いた木村ミルクの、次の 100 年	500,000 円 (1,083,060 円)	150,000 円
9	いわき発の「缶詰カレー」	1,500,000 円 (1,830,500 円)	150,000 円
10	いわきの「豚まん」で地域を支えたい	1,000,000 円 (1,576,825 円)	150,000 円
計			1,494,020 円

3. 地域の新産業創造事業

(財源：いわき市受託金、福島県受託金、産振センター受託金)

(定款(法人の事業または目的)上の根拠：第4条第3号)

(趣旨)

創業者や新規事業者をハード、ソフト両面から支援し、地域内での新産業の創出、育成を図る。

(事業内容)

いわき市内において、新たに創業や新事業の創出を図ろうとする起業者等の育成や新たな事業分野の開拓に関する相談対応等、市の創業支援事業計画に基づいた総合的な支援をいわき産業創造館で行い、いわき市内での起業・創業の促進を支援した。具体的には次に掲げる業務を実施した。

(対象者)

新たに事業を起こそうとする個人や中小企業者等で会員に限定しない。

(実施内容・実績等)

(1) 創業者支援室入居者への支援(財源：いわき市受託金)

いわき産業創造館内の創業者支援室(貸与、全11室)を管理運営し、その入居者の公募と入居者選定審査会の実施、及び入居者に対する更新審査を実施した。

また、いわき産業創造館内の創業者支援室を核として、市の創業支援事業計画に基づき、同支援室内にインキュベーションマネージャーを配置し、創業者支援室入居者等に対して、起業から事業が軌道に乗るまで日常的に相談指導を行うとともに、創業者支援室退室者等に対しても継続してフォローアップを行い、その後の事業継続、事業拡大を支援した。

◎ 令和2年度 創業者支援室 審査会開催実績(新規入居審査/更新審査)

審査対象	実施回数	項目	
新規入居審査	3回	応募件数	6件
		入居許可件数	4件
更新審査	3回	申請件数	4件
		更新許可件数	4件

◎ 令和2年度 入居企業一覧（7企業・団体）（内会員4件）（令和3年3月31日現在）

部屋区分	No	事業形態	業 種
メイン	1	—	—
	2	有限会社	介護福祉輸送事業
	3	—	—
	4	株式会社	事業プロデュース、商品企画、総合広告業務
	5	—	—
	6	株式会社	サービス業（仕出し、弁当サービス業経営）
	7	個人事業主	サービス業（カレーの移動販売、通信販売）
ポスト	1	—	—
	2	株式会社	機械設計、ソフト開発業
	3	個人事業主	Webコンテンツ開発・制作・運営事業
	4	株式会社	居宅介護支援業

（2）いわき市特定創業支援事業 個別指導プログラム（創業支援セミナー）の開催

（財源：いわき市受託金）

産業競争力強化法に基づき経済産業省の認定を受けた「特定創業支援事業」として、いわき産業創造館創業者支援室の入居者および市内の創業希望者を対象に、経営の実践的ノウハウや知識の習得を目的として、インキュベーションマネージャーによる個別指導プログラムを実施した。（全プログラム修了者には、「創業補助金」の申請に係る募集要件である、特定創業支援を受けた創業者として市より「証明書」が発行される。その他、登録免許税の軽減等の優遇措置の対象となる。）

◎ 令和2年度 いわき市特定創業支援事業個別指導プログラム（創業支援セミナー）開催概要

項 目	概 要
日 程	令和2年10月9日（金）～令和2年12月3日（木）まで （18:30～20:30 ※12月3日のみ17:00～20:00） 全9日間19時間コース
会 場	いわき産業創造館 会議室1、セミナー室、IT研修室 ※オンライン同時配信
講 師	・佐藤 直美 氏 （有限会社インキューブ 取締役社長、中小企業診断士・ITコーディネーター） ・奥瀬 円 氏 （社会保険労務士法人HRM総合事務所 代表社員、中小企業診断士・特定社会保険労務士）
対象者	創業者、創業意欲者、中小企業者等
受講者数	40名（IR入居者及び外部の新規創業者等、内会員1名）
修了者数	27名（うち新規創業者、創業予定者数：25名）

◎ 令和2年度 創業支援セミナー 開催実績（全9日間／19時間コース）

テーマ	指導内容	開催日時／会場	受講者数
経営・事業計画	ビジネスアイデアの検討・ブラッシュアップによる立案・作成、環境分析、経営戦略立案、事業計画立案、アクションプラン立案	令和2年11月19日（木） 18:30～20:30 いわき産業創造館 IT研修室	25名
		令和2年11月26日（木） 18:30～20:30 いわき産業創造館 会議室1	24名
財務・会計	経理事務、経営分析、財務戦略、資金繰り、資金調達	令和2年10月9日（金） 18:30～20:30 いわき産業創造館 IT研修室	24名
		令和2年10月16日（金） 18:30～20:30 いわき産業創造館 IT研修室	24名
販路開拓	マーケティング、販売促進、顧客コミュニティ	令和2年11月5日（木） 18:30～20:30 いわき産業創造館 セミナー室	25名
		令和2年11月12日（木） 18:30～20:30 いわき産業創造館 会議室1	23名
人材・マネジメント	人材採用・育成、組織マネジメント、リーダーシップ、イノベーション	令和2年10月23日（金） 18:30～20:30 いわき産業創造館 IT研修室	24名
		令和2年10月30日（金） 18:30～20:30 いわき産業創造館 IT研修室	23名
グループ指導	これまでの指導を踏まえ、自社の経営戦略を実行し、結果を持ち寄りプレゼンテーションし、グループで議論	令和2年12月3日（木） 17:00～20:00 いわき産業創造館 会議室1	24名

(3) いわき市起業家サポートネットワーク（財源：いわき市受託金）

創業支援事業を推進する市内の産学官金のネットワーク化を強化し、一気通貫型の支援体制を構築し、創業までの切れ目ない支援による地域プレーヤーの発掘と育成支援を行った。

また、市の創業支援事業計画に基づく創業支援事業を実施している各機関との連携による創業支援体制のもと、地域の起業・創業機運の更なる醸成を図った。

◎ 連携機関（13機関）

東日本国際大学、NPO法人TATAKIAGE Japan、いわき商工会議所、株式会社キックオフ、社会保険労務士法人HRM総合事務所、いわきリエゾンオフィス企業組合、いわき地区商工会広域連携協議会、東邦銀行、福島銀行、日本政策金融公庫、ひまわり信用金庫、いわき信用組合、公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会

◎ 令和2年度 いわき市起業家サポートネットワーク 開催実績

回	開催日時/会場	開催テーマ	講師・発表者	参加者数 (会員数)
1	令和3年 3月17日(水) 14:00~17:30 いわき産業創造館 企画展示ホール	【第一部】 連絡会議 【第二部】 起業・経営応援セミナー With/After コロナ時代 における事業展開について	【パネリスト】 ・メディカルハーブのお店 oluolu 代表 今泉 奈津子 氏 ・珈琲焙煎所ぼうし (bo-shi coffee) 代表 坪井 敦 氏 ・TEA TO EAT 和田 幹之 氏・絵美里 氏 【ファシリテーター】 ・社会保険労務士法人 HRM 総 合事務所 代表社員 奥瀬 円 氏	24名 (3名)

(4) 事業承継支援事業(財源:いわき市受託金)

地域創業の促進と経営者の高齢化等の課題を抱える中小企業の世代交代・再活性化を進めることと、創業・事業承継を一体的に促進するため、地域における事業承継ニーズの掘り起こしや、事業承継を契機とした中小企業による新しい取組みについて支援した。

◎ 事業承継セミナー 開催実績

回	開催日時/会場	事業名	講師	参加者数 (会員数)
1	令和3年 2月3日(水) 18:00~19:30 いわき産業創造館 セミナー室	【事業承継セミナー】 演題:事業再構築補助金 を活用した事業転換	いわきリエゾンオフィス 企業組合 副理事長 佐藤 直美 氏	25名 (1名)

◎ 個別相談窓口の開設

項目	概要
開催日	令和2年4月~令和3年3月(随時)
会場	いわきリエゾンオフィス企業組合、申請事業者事務所等
相談時間	一人1時間程度
対象分野	・既存企業、団体の事業承継、廃業に関する相談 ・企業、団体としての出口戦略に関するアドバイス ・各種手続きに関するアドバイス
相談員	いわきリエゾンオフィス企業組合 理事長 佐藤 フロンズ 氏 / 副理事長 佐藤 直美 氏
相談件数	18件(内会員2名)
事業承継 マッチング件数	4件(内会員0名)

(5) スタートアップ起業家緊急支援事業（財源：福島県受託金）

創業5年以内の企業が取り組む販路の開拓・拡大等に対して「販促支援補助金」および「応援キャンペーン補助金」を実施するとともに、応援サイトを創設し、広く周知を図ることで販路拡大につなげ、持続的な経済活動を後押しした。

◎ 創業5年以内の起業家等に対する補助金の運營業務（事務局運営）

「販促支援補助金」「応援キャンペーン補助金」の補助金運営事務局を開設し、公募の準備（公募要領・補助金交付要綱等の作成整備、周知広報）から公募実施、採択、精算・支払いまでの一連の補助金事務処理業務を実施した。

【対象補助金概要】

補助金名称	補助額上限・補助率	採択件数	応募総数
販促支援補助金	補助額上限 30 万円：補助率 3/4	60 件	73 件
応援キャンペーン補助金	補助額上限 10 万円：補助率 10/10	93 件	101 件

◎ 補助金採択者に対する伴走支援業務

福島県インキュベート施設ネットワーク協議会の構成機関と連携し、起業支援において実績のある各地のIM等を事業サポーターとして配置し、採択事業の実施や販路拡大に向けた伴走支援を実施した。

【伴走支援業務 実施概要】

実施期間	交付決定日～令和3年3月5日
対象者	・販促支援補助金採択事業者（60事業者）
事業サポーター	・新城 榮一 氏（県北、会津地域担当） ・重巢 敦子 氏（県北、会津地域担当） ・相馬 由寛 氏（県中、県南、相双地域担当） ・三部 加奈 氏（県中地域担当） ・奥瀬 円 氏（いわき地域担当） ・佐藤 直美 氏（いわき地域担当）
内容	対象者に対し、事業サポーターによる訪問・連絡により、事業の進捗状況、課題の抽出とその解決に向けた個別支援を実施

◎ ふくしま応援サイト開設・運営による採択事業者のPR

補助金採択者の商品やサービス、事業内容等の情報等を一覧できるウェブサイト「ふくしま応援サイト（スタふく）」をBizスタふくしま内に開設し、広く周知を図ることで新たな販路の開拓や消費拡大を促進した。

【ふくしま応援サイト 開催概要】

公開期間	令和3年3月1日（月）～継続公開中	
対象者	販促支援補助金採択事業者：55件 応援キャンペーン補助金採択事業者：89件 ※いずれも辞退された事業者を除く	
公開内容	販促支援補助金採択事業者	・事業者概要（社名／住所／連絡先／主な製品等） ・これまでの歩み、製品開発までのエピソード等
	応援キャンペーン補助金採択事業者	・事業者概要（社名／住所／連絡先／主な製品等）

（6）創業補助金伴走支援業務（財源：公益財団法人福島県産業振興センター受託金）

令和元年度及び令和2年度の「福島県女性・若者向け創業補助金」ならびに「福島県地域課題解決型起業支援事業補助金」採択者を対象に伴走支援を行った。

採択者が抱える様々な課題の解決や着実な開業・法人設立に向けた助言およびスムーズな補助金執行のため、書類作成等の事務処理上の手続き等の指導を行った。

事業名	年 度	業 種
福島県女性・若者向け創業補助金採択者	令和元年度	飲食店（ウエディングレストラン含む）
		介護保険関連事業（制度の周知、ケアプラン作成等）
		オーガニックコットン製造、商品開発・販売
		双葉地区の観光情報発信、旅行商品の企画、販売
		ギフト商品企画
	令和2年度	ヴィーガンビスコッティ専門店
		モンテッソーリ教育による英語育児
福島県地域課題解決型起業支援事業補助金採択者	令和元年度	宿泊業（ゲストハウス）、飲食店
	令和2年度	民間救急患者等搬送事業

4. 地域産業の経営革新及び技術開発支援事業

(財源：いわき市受託金・補助金、福島イノベーション補助金、産振センター助成金)

(定款(法人の事業または目的)上の根拠：第4条第4号)

(趣旨)

中小企業者等が抱える各種課題の解決を目的として、専門家等への相談の機会を提供し、販路開拓活動等への支援により事業の再生高度化を図る。

(事業内容)

経営革新や技術開発に取り組む中小企業者等が抱える各種課題の解決を目的とし、専門家(協会登録アドバイザー)等への定期的な相談会および首都圏等の企業や研究機関との商談会をいわき産業創造館で行い、経営革新や経営課題の解決、販路拡大等を支援した。具体的には、次に掲げる業務を実施した。

(対象者)

経営革新や経営課題、また販路拡大、販売促進に意欲のある中小企業者等で会員に限定しない。

(実施内容・実績等)

(1) 起業・経営相談窓口の設置(再掲)

いわき産業創造館内の創業者支援室内マネージャー室等を活用して、中小企業診断士による企業・経営相談窓口を定期的に設置し、中小企業者・創業者等への助言・指導を行った。

(2) 特許相談窓口の設置(再掲)

関係機関との連携により、弁護士による特許相談会の開催および定期的な相談窓口を開設し、中小企業者・個人事業主等への助言・指導を行った。

(3) アドバイザー派遣事業(再掲)

弁護士、税理士、社会保険労務士、中小企業診断士等の専門スキルを有する登録アドバイザーを配置または派遣し、中小企業者等の抱える経営課題の解決に向けた活動を支援した。

(4) 福島イノベーション・コースト構想重点分野等事業化支援事業

(財源：公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構補助金)

いわき地域をはじめとした福島県浜通り地域のものづくり企業に対して、海外(台湾)企業とのマッチング機会の創出および共同開発・試作開発、販路開拓等を支援した。

◎ 台湾グローバル技術連携オンライン展示商談会 開催概要

項目	概要
開催日程	【バーチャルブース展示（オンラインでの企業・製品紹介）】 令和2年11月9日（月）～12月3日（木） 【台湾企業等とのオンライン商談会（いわき⇄台北）】 令和2年12月7日（月）～11日（金）13:00～17:00
主催	公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会
後援	公益財団法人日本台湾交流協会、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構、台日産業連携推進オフィス
会場	いわき産業創造館 企画展示ホール ※オンライン（いわき～台北）
参加企業数	6社（内会員5社）
台湾企業数	19社
商談件数	25件
開催内容	福島イノベーション・コースト構想の重点的取組分野において、台湾企業とのオンラインによるビジネスマッチングの機会を提供した。 また、産学官連携・販路開拓等の専門家や現地コーディネーターとの緊密な連携を図り、コロナにより毀損したサプライチェーンの再構築や強靱化に向けた製品・部素材の海外製造拠点の複線化、顧客への製品・部品供給を継続するために必要な、新たな調達先・協力企業等の新規開拓を推し進め、浜通り地域のものづくり企業のニューノーマル（新常态）や新たな日常へ対応した新たな海外展開・販路開拓に係る取組みを支援した。

◎ 商談フォローアップ

国内外のコーディネーターによる商談後の商談内容の分析と継続的モニタリングにより、企業間の連携確度が高い技術連携案件や販路開拓等への展開・具現化等が期待できる商談継続案件について重点的なフォローアップを行った。

また、事業完了後も、企業が自立的かつ持続的にオンラインを利用して、海外企業との商談・コミュニケーションの機会を創出した。

(5) 風車マーケット参入支援事業（財源：公益財団法人福島県産業振興センター補助金）

産学連携プロジェクトの創出による風車製造・メンテナンスのノウハウ蓄積と企業が抱える課題の解決等について、セミナー講師による個別相談会を行った。

◎風力発電関連産学連携プロジェクト創出支援セミナー 開催概要

回	開催日時／場所	内 容	参加者数
			(会員数)
1	令和2年 9月30日(水) 13:00～17:00 いわき産業創造館 企画展示ホールA	演題：いわき市におけるFS調査と風車産業への参入機会について 講師：東京大学先端科学技術センター 特任准教授 飯田 誠 氏	32名 (24名)
		演題：産学連携プロジェクトの取り組みと課題について 講師：ボックス情報システム株式会社 システム開発一部 第二課 課長 鈴木 潤一 氏	
		個別相談会	5社 (4社)
2	令和2年 11月27日(金) 13:00～17:00 いわき産業創造館 企画展示ホールA	演題：福島沖浮体式洋上風力発電の可能性について 講師：福島大学共生システム理工学類再生可能エネルギー 寄付講座 特任教授 佐藤 義久 氏	28名 (26名)
		演題：風車用落雷検出装置の普及と課題 講師：中部大学 工学部 電気電子システム工学科 教授 山本 和男 氏	
		個別相談会	5社 (4社)
3	令和2年 12月21日(月) 13:00～18:00 いわき産業創造館 企画展示ホールA	演題：いわき市におけるFS調査と風車産業への参入機会について～風力産業の業界構造と参入戦略～ 講師：産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター 風力エネルギーチーム 主任研究員 田中 元史 氏	43 (39社)
		演題：福島での風力事業導入促進に向けた北拓の取り組み 講師：株式会社北拓 副社長 吉田 悟 氏	
		個別相談会	12社 (11社)

5. 産学官の連携促進事業（財源：いわき市受託金）

（定款（法人の事業または目的）上の根拠：第4条第5号）

（趣旨）

産学官の連携等により、新たな事業活動に取り組もうとする中小企業者等を補助金、資金調達、アドバイス等で支援し、自立的・内発的な地域産業の活性化を図る。

（事業内容）

産学官の連携等による内発的な経済活性化の仕組みを構築していくことを目的とし、企業間（産産）連携や産学連携等による新技術・新製品等の開発や事業化を目指す中小企業者等の取組に対して、資金・人材面での支援を行った。具体的には、次に掲げる業務を実施した。

（対象者）

産学官の連携等により、新たな事業活動に取り組もうとする中小企業者、大学の研究者等で会員に限定しない。

（実施内容・実績等）

（1）産業イノベーション創出支援事業／バッテリー関連技術開発支援事業

（財源：いわき市受託金）

市内の事業者や高等教育機関が開発する新たな商品やサービス、技術等について、それまでのモノや仕組みに対し、新しい発想や技術を取り入れることで、新産業の創出、地域産業の活性化に貢献することが見込まれる取組みを公募し、委託による資金補助や産学官連携コーディネーターによる進捗管理など、事業化に向けて総合的に支援した。

また、バッテリー関連技術開発事業（次世代エネルギー事業化支援事業）においても特別枠として設け、市内事業者のバッテリーや次世代エネルギーに関連する技術開発、事業化を促進した。

◎ 令和2年度 産業イノベーション創出支援事業／次世代エネルギー事業化支援事業

採択案件一覧【採択件数9件（内会員9件）／委託費合計 23,356,516円】

区分	事業名	事業概要
産業イノベーション創出事業	AIを活用したいわき産トマトの高付加価値化と安定した利益確保への取り組み	熟練者の知見を取り入れたAIによって、専門業務を多くの作業員が行えるようにすることで、いわき産トマトの品質と生産性の向上による高付加価値化、安定した利益の確保に寄与することを目指す。
	神札（おふだ）書きロボットの入力部と出力部のシステム統合と製品化開発	神札書きロボットの開発において、運筆データ採取の精度向上と微調整機能の追加によるシステムの改良と3軸ロボットの改造により実用レベルでの「製品化」を行う。

	<p>屈曲機能を有する脊髄人口靭帯を開発し、患者への低侵襲性医療機器の事業化</p>	<p>弊社の固有技術である「撚線技術」を駆使し、脊髄人工靭帯に屈曲機能を有する機器の研究開発及び新機能の製品の開発を行い、患者への安心・安全を担保、かつ低侵襲性の医療機器を医療業界に提供する。</p>
	<p>ハンドルの負荷を検出し、モーターでアシストする電動台車の開発実用化</p>	<p>歪ゲージを使ったモーター駆動制御でアシストする高機能且つ安価な電動台車を開発する。</p>
	<p>高信頼性・高じん性風力発電タワー用アンカーボルトの研究・開発</p>	<p>昨年度、風車タワーのフランジ用ボルトの大臣認定を取得した技術や経験を生かし、今年度は、風車タワー用アンカーボルトの研究・開発を行う。</p>
	<p>光触媒チタンアパタイトを主体とした新素材組合せによる水質浄化機能材の開発</p>	<p>光触媒チタンアパタイトを主体とし、用途別に特殊効果を有する他の新素材を組み合わせることで、様々な用途・条件で幅広く活用可能な水浄化機能材の開発を実施する。</p>
	<p>「常磐もの」の水揚げ・加工・販売までを担う、水産業に特化した地域商社機能の確立</p>	<p>漁業者が主体となった6次産業化の基盤を作り、衰退する水産業の事業再編・新規事業参入を行うための地域商社機能の確立を図る。</p>
<p>次世代エネルギー 事業化支援事業</p>	<p>地産地消型エネルギーシステム構築に伴う分散型エネルギー設備の運用実証事業</p>	<p>環境に配慮した地産地消型のエネルギーシステムを構築する必要がある中、太陽光発電設備・燃料電池・蓄電池を組み合わせた運用実証を図り、スマートグリッド・マイクログリッドシステムの普及拡大を推進する。</p>
<p>わくわく地方 創生事業</p>	<p>首都圏のプロ人材コーディネーターを通じた、産業創出機運醸成事業</p>	<p>いわき市特有の地域経営課題に取り組んでいる経営者に対し、首都圏から公募したプロフェッショナル人材による伴走支援を実施し経営課題の解決を図る。同時に、活動の様子を取材、発信することで、いわき市での新産業の創出を促進する。</p>

◎ 産学官連携コーディネーターによる進捗管理

事業実施における課題の抽出やその解決に向けたアドバイス及び進捗管理のため、産学官連携コーディネーターにより月次で支援した。

(2) 助成制度等の活用支援

市内中小企業等に対して、国や県等の公的な各種支援施策や助成制度の活用紹介、申請書の作成に対するアドバイス、申請書作成支援から助成制度導入後のフォローアップまで一貫した支援を実施した。

◎ 令和2年度 外部資金等（補助金・助成金等）獲得支援実績

補助金・事業名	補助・助成元	採択件数	採択額概算 (単位：千円) ※税別
スタートアップ起業家緊急支援事業	福島県	1件	46,299
ふくしま産業応援ファンド事業助成金	公益財団法人福島県産業振興センター	1件	1,000
販路開拓等支援事業（福島イノベーション・コースト構想重点分野等事業化促進事業）	公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構	1件	3,000
いわき市産業イノベーション創出支援事業補助金	いわき市	1件	300
女性・若者向け創業補助金	公益財団法人福島県産業振興センター	2件	2,000
地域課題解決型起業支援事業補助金	公益財団法人福島県産業振興センター	1件	2,000
バッテリー関連事業化支援事業	いわき市	1件	5,673
創業補助金伴走支援業務	公益財団法人福島県産業振興センター	2件	1,010
	合 計	10件	約 61,282 千円

6. 地域産業活性化に関する調査研究事業

(定款(法人の事業または目的)上の根拠:第4条第6号)

(趣旨)

地域産業の活性化に資する事例等について情報収集、分析、研究するとともに、地域産業を担う人材の育成を、いわき産業創造館施設を活用し支援する。

(事業内容)

いわき産業創造館と他地域の産業支援機関の交流による産業支援ノウハウのレベルアップを目的に、先進的な取り組みを行っている地域を視察訪問し、その地域の企業、高等教育機関及び産業支援機関等といわき産業創造館の交流を図りながら、会員事業所等と他地域企業との技術交流・取引拡大、産業支援・振興施策のあり方等の調査・研究を行った。

また、地域内産業活性化に必要な資源である「人財」を育成する各種事業をいわき産業創造館で実施し、地域内産業の基礎力及び競争力向上を図るため、ものづくりや新規市場調査等に係る研修事業を実施した。

(対象者)

中小企業者、農林漁業者、就業希望者等で会員に限定されない。

(実施内容・実績等)

(1) いわきウィンドバレー推進協議会の活動

(財源:いわき市補助金、MS&AD Green Power サポーター寄付金)

国・県が推し進める福島県浜通り地域を対象とした風力発電構想を契機に、風力発電関連のものづくり産業・メンテナンス産業分野への市内企業の参入を後押しし、風力発電関連産業の集積を図ることを目的として、いわきウィンドバレー推進協議会を設置し、風力発電関連分野の展示会出展や視察等の活動を実施した。

◎ 実施体制

協議会名称	いわきウィンドバレー推進協議会
事務局	公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会
参加企業数	22社(風力発電関連産業へ参入意欲のある市内製造業者等)

◎ 実施内容

開催日時	内 容
令和 2 年 10 月 28 日 (水)～29 日 (木)	【展示会出展・ビジネスマッチング】 REIF ふくしま 2020 (ビッグパレットふくしま)
令和 2 年 11 月 24 日 (火)～25 日 (水)	【風力発電メンテナンス施設等の視察】 ・秋田市役所 ・株式会社日立パワーソリューションズ能代サービスセンター ・あきた次世代エネルギーパーク ・秋田市新屋浜風力発電所 (さくら風力) 等
令和 3 年 3 月 3 日 (水)～5 日 (金)	【展示会出展・ビジネスマッチング】 第 9 回国際風力発電展 (東京ビッグサイト)

(2) 「いわきものづくり塾」の開催 (財源：いわき市受託金)

いわき地域の基幹産業でもあるものづくり分野において、地域内産業活性化に必要な資源である「人財」を育成するため、地域内企業の技術力の向上、研究開発力の強化を目的とした『いわきものづくり塾』5 テーマ全 10 講座を実施した。

◎ 令和 2 年度 いわきものづくり塾 開催概要

テーマ	内 容	講座数	開催月
I 機械製図基礎 コース	ものづくりにおける図面のルールを良く理解し、「2次元設計」「3次元設計」などの人へ伝えるために必要となる「機械製図」の基礎について理解を深めた。	全 1 講座	3 月
II UV 印刷加工の基 礎コース	様々な印刷加工分野において多用途で用いられている UV 印刷の基本的な知識を学ぶほか UV 印刷機の実機操作技術を習得した。	全 2 講座	3 月
III レーザー加工の 基礎コース	様々な材料加工において多用途で用いられているレーザー加工の基本的な知識を学ぶほか CO2 レーザー加工機の実機操作技術を習得した。	全 2 講座	3 月
IV Web デザインス タートアップコ ース	Web デザインを学ぶ上で必要不可欠な基礎知識の習得を目指すほか、ワークショップによるソフトウェアの活用法などを学んだ。	全 4 講座	3 月
V デザイン思考に よる製品開発コ ース	「デザイン思考」を活用した新製品アイデア創出のプロセスについて、セミナーとワークショップ形式で学んだ。	全 1 講座	12 月
合計 (内訳)	申込者数	のべ 119 名	
	受講者数 (会員数)	54 名 (35 名) ※のべ 105 名	
	受講企業数 (会員数)	34 社 (22 社)	

7. 地域産業振興に資する各種情報の収集および提供事業

(財源：いわき市補助金)

(定款（法人の事業または目的）上の根拠：第4条第7号)

(趣旨)

地域産業の振興や活性化に資する情報を収集・提供する。

(事業内容)

当協会が実施する各種事業やいわき地域の産業の振興及び地域経済の活性化に資するような各種講演会やセミナー、国・県等の助成制度等の情報等をいわき産業創造館より発信した。具体的には、ホームページやメールマガジン、SNS等の活用や、定期的に発刊する機関紙等により情報を提供した。また、いわき地域の中小企業者等が自社製品や技術開発等に関する情報を外部に発信する際に、いわき産業創造館および当協会が持つ報道機関等とのネットワークを活用し、プレスリリースにより情報を提供した。

(対象者)

情報提供を希望する企業、団体、個人等で会員に限定されない。

(実施内容・実績等)

(1) ホームページによる情報発信（随時実施）

協会の概要やコーディネーター、アドバイザーの紹介をはじめ、各種講演会・セミナー、国・県等の助成制度等の情報を提供するため、ホームページによる情報を発信した。

(2) ネットマガジンによる情報発信

各種講演会やセミナー、国・県等の助成制度等の情報を提供するため、電子メール及びFAX等による情報を発信した。

項目	概要
集計期間	令和2年4月1日（水）～令和3年3月31日（火）
配信数	238件

(3) 会報発行による情報発信

協会の活動を広く発信するため、会報を発行し、オフタイムサロンを始めとする各種講演会・交流会やセミナーの開催・報告、助成・奨励事業の採択、いわき産業創造館インキュベートルーム新規入居者及び卒業者紹介、事業実施状況を発信した。

(4) プレスリリース等による情報発信

協会の活動内容について、協会ホームページを適時更新するとともに、報道機関等には迅速な情報提供をするなど、積極的なPR活動を行った。

◎ 令和2年度 新聞記事等掲載実績 (計 22 件)

カテゴリ	内容等	掲載件数
創業・起業支援	創業者支援事業 (インキュベートルーム) 関係、中小企業者・創業者向け無料経営相談会、いわき市起業家サポートネットワーク 等	1 件 (内入居企業記事 0 件) (内卒業企業記事 1 件)
事業化支援	産業イノベーション創出支援事業、事業支援・企業支援活動、ふくしま産業応援ファンド事業 等	10 件
経営革新支援	産業人材育成事業 (いわきものづくり塾)、産業財産権の取得支援事業 (特許相談会、いわき知財塾等)、経営革新セミナー 等	0 件
販路拡大支援	販路開拓助成事業、産学官の連携促進事業 (オフタイムサロン)、企業・ひと・技応援ファンド、スタートアップ補助金 等	11 件

II 共益・収益事業について

(共益事業)

1. 産産・産学連携共同研究活動奨励事業（財源：会員会費収入）

（定款（法人の事業または目的）上の根拠：第4条第5号）

(趣旨)

産学官の連携等により、新たな事業活動に取り組もうとする中小企業者等を補助金、資金調達、アドバイス等で支援し、自立的・内発的な地域産業の活性化を図る。

(事業内容)

企業間（産産）及び企業と研究・高等教育機関（産学）の連携による研究会や共同研究活動に係る取り組みを行う際の経費の一部を助成し産産・産学連携のスタートアップ期を支援した。

(対象者)

当協会の団体正会員及び企業正会員を対象としている。

(実施内容・実績等)

◎ 令和2年度 採択案件一覧【採択件数4件（内会員4件）・助成額 200,000円/件】

No	提案者 (申請主体)	研究テーマ	実施内容
1	いわきビジネスプランコンテスト実行委員会 (いわきリエゾンオフィス企業組合)	いわきにおける次世代の産業群・企業群を生み出す種子を見つけ、起業家精神の喚起と育成、新規開業者や起業家の輩出を目指す。	ビジネスプランコンテストを開催し、市内の優れた起業家からのビジネスプラン・ビジネスアイデアを募り、創業機運の醸成を図った。
2	いわきバッテリーフェスタ実行委員会 (一般社団法人いわきバッテリーバレー推進機構)	バッテリー関連を軸とした先進的な取り組みや製品・サービスを広く伝えるイベント「いわきバッテリーフェスタ」を開催する。	開催にあたり、実行委員会を組織し、年度ごとにテーマやコンセプト、主要課題を調査・検討した。また本年度は新型コロナの影響によりWEB開催とした。
3	常磐もの未利用資源研究会 (合同会社はまから)	未利用資源の鮮魚に付加価値をつけるためのブランディング化を図り、知名度を高める。	商品の試作品開発やパンフレット等の広報物を作成し、魚の知名度を高めるためのブランディング活動を行った。
4	長距離通信関連技術研究会 (マイナーズジャパン株式会社)	風力発電をターゲットとした光ファイバー通信や省電力無線通信を利用した長距離安定通信について共同研究し、新技術、新製品の創造を目指す。	長距離通信の必要な風力発電所等をターゲットとし、ニーズを調査し問題解決を提案できるような技術、製品開発を図るべく継続的に共同研究できる体制を整えた。

(収益事業)

実施なし。

以上